※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3010D

令和５年度　インテリア科

教科	工業	科目	情報技術基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新訂版「精選情報技術基礎」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちの身の回りには、さまざまなコンピュータが多数存在し、用途に応じてネットワークで接続され、私たちの生活を助けている。PC で文章作成やゲーム、携帯電話や電気機器などの製品に組み込まれたコンピュータを無意識のうちに使うため、正しい知識と利用方法、情報の取り扱いなどの知識を学び、実際に理解を深め技術履修、修得を目指す。

2　学習の到達目標

各ソフトウエア（文章制作、図形制作、表計算、ＣＡＤ、画像編集、プレゼンテーション支援、ＰＤＦファイル作成など）の操作方法を学び、自身の作品を制作するにあたってのより良い方法でソフトウエアを使いこなせるように課題をこなしていき、技術向上とともに情報の分野の理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	初めに参考資料などを、プロジェクターで大きく見せることによって、 関心を持たせ、理解をしやすくする。	いろんなソフトの機能や特徴を学ばせ、目的にあったデザインができるソフトを選ばせたうえで、しっかりとした作品プランを考えさせる。	実際にデザインをソフトで作ることによって、手書きでは想像できなかった、利点や改良点などを考えていき、手直しを加えて実際のデザインが分かりやすいように仕上げていく。	最終的に、データをプロジェクターで前に映し出し、自分の意見を踏まえながらプレゼンテーションしていくことで、自分で考えたデザインに関しての理解を深め、技術の向上に繋げる。
評価方法	・検索ソフトでデータをあつめる。 ・デザインの資料となるものを検索ソフトで探し、プラン用紙をソフトウエアで作る。 ・授業態度	・同じ作品をパターン替えしながら、デザインを図形処理ソフトで完成させる	・プランにもとづいたプレゼンボード制作。	・プロジェクターに投影しプレゼンテーションをする。 ・意見交換・感想を書かせる ・授業態度 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	コンピュータの基本操作とソフトウエア	・キーボードの基本操作	○		○	○	a:教科書を見ながら世の中の情報に関する知識を深める b:実際に記憶装置を見せ、構造などを理解し、取り扱いの仕方を学ぶ c:入力作業をしながら実際の配置や同線などを考え理解する d:実際の操作の中で、試行錯誤しながら処理の仕方の工程の面白さを理解する	・授業態度 ・授業ファイルノートの記述 ・定期考査
		・記憶装置の取り扱い		○				
		・ソフトウエアの分類		○				
		・アプリケーションソフト ウエアについて		○		○		
		・文章作成ソフトを学ぶ	○		○	○		
		・図形処理ソフトを学ぶ	○		○	○		
二学期	ハードウエアとネットワーク	・処理装置と周辺装置	○			○	a:装置がどのように構成されているかを映像で学ぶ b:ネットワークの概要を学び、より良いデータ構成ができるように学ぶ c:実際にネットワークを使用し、調べ学習をすることで理解を深める d:ＣＡＤで制作し、３Ｄ化することによって模型とは違う存在感や物の表現の仕方などを理解する	・授業態度 ・授業ファイルノートの記述 ・定期考査
		・データの表し方		○	○			
		・コンピュータネットワークの概要・構成	○		○			
		・ネットワークの通信技術	○			○		
		・ＣＡＤソフトを学ぶ	○	○	○	○		
三学期	コンピュータによる制御	・いろいろな制御	○		○		a:日常のコンピュータ制御をもう一度見て触れて構造などを理解する b:組み込みシステムの機能性を理解する。 c:一般的に使われている画像編集ソフトを使用し、画像加工、効果の理解を深める d:プレゼンボードを作成し、デザインの理解を深める	・授業態度 ・授業ファイルノートの記述 ・定期考査
		・組み込み技術の概要	○		○			
		・画像編集ソフトを使う	○			○		
		・プレゼンテーションソフトを学ぶ	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の

※令和３年度以前入学生用

各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。